

第22回『北海道 あの町・この村・この味覚 産直フェア』会場配置



区画No	種別	出店会名
F1	L	東京稚内会
F2	L	東京天塩会
F3	M	東京恵庭ふるさと会
F4	L	東京美唄会
F5	M*	東京・別海ふるさと会
F6	M*	東京中標津会
F7	L	東京栗山会
F8	L	東京芽室会
F9	L*	ひがしかわ東京会
F10	M	東京様似会
F11	M	あしよる会
F12	L	東京浦河会
F13	M	東京ふるさと岩内会
F14	M	北海道倶楽部
F15	M	東京らうす会
F16	M	東京秩父別会
F17	L	北海道福島会
F18	M	東京標津会
F19	M	東京浦臼会
F20	M	北海道フーディスト
F21	L	東京東神楽会
F22	M	東京ニセコ会
F23	M	東京幕別会
F24	LL	連合会本部・PRコーナー

いつの間にか22回目、北海道・産直フェアとしてスタートしたのは、新宿住友三角ビル前の広場、ビル風にあおられテントの固定はチョット大変でした。8年続け今の代々木公園の「北海道フェアin代々木」・「北海道」へお誘いを受け、「北海道・産直フェア」単独コーナーを戴き、「あの町・この村・この味覚」をうたい文句とした各ふるさとのPRを中心に参加したのです。新宿住友三角ビル広場での参加は平均12〜14団体だったと、今年には23団体のふるさと会が参加です。

代々木公園でのびっくりは、何といっても来場者数、完全に一桁数字が違っていています。新宿は単独の開催でしたが3日間で、最高3万人。今は4日間の最高は47万人、全員が我がコーナーに訪れる訳ではありませんが、兎に角凄く、売り上げも伸びたのです。ふるさと会のメンバーの高齢化もあり4日間の開催には多少抵抗はあり、今回の開催にも賛否両論、激論が交わされ我がコーナーだけは、多少の時間短縮を戴きながらの、参加しなければ継続は無いと、産直部会担当者が大変御苦労され参加に至ったと言うのが経緯でした。「継続は力」と言われますが今や「北海道ふるさと会連合会」の大きな年間イベントです。新しいふるさと会加入への原動力にもなっています、加盟することが参加の条件かも。

＊北海道事務所の所長を始め、職員の皆様も開催中何かとお手伝い頂き、産直フェアを盛り上げてくれました、御礼申し上げます。

第22回
北海道・産直フェア
開催に当たって。

協賛企業 (順不同)

- 公益社団法人北海道倶楽部
北海道に貢献する北海道倶楽部
- 株式会社北海道銀行 どんさんバンク
- 株式会社北洋銀行 人に、時代に、敏感です。
- 北海道放送株式会社
みんなで食べよう!北海道 HBC北海道放送
- 北海道文化放送株式会社 北海道文化放送
- 北海道テレビ放送株式会社
ユメミル・チカラ HTB
- 札幌テレビ放送株式会社
みる・みる・みらいSTV
- 株式会社北海道新聞
どんな小さな地域の声にも耳を傾け、
マスマス深く、伝えます。北海道新聞社
- 株式会社 AIRDO
おいしい大地へ!「北海道の翼 AIRDO」

- 株式会社マツオ
いつも笑顔の真ん中 松尾ジンギスカン
- 雪印メグミルク株式会社
未来は、ミルクの中にある。
- 北海道フーディスト八重洲店
「北海道おいしいショップ」もっと身近に北海道
- サッポロビール株式会社
140年を誇りに、乾杯をもっとおいしく!
- 株式会社北海道日本ハムファイターズ
「北海道日本ハムファイターズは、
北海道・産直フェアを応援しています。」
- ポッカサッポロフード&ビバレッジ
おいしい「!」がある。
- 株式会社北見ハッカ通商
ハッカで栄えた街 北海道北見市。歴史を今に伝える。
- 北海道どんごプラザ有楽町店
「北海道の「おいしい」が1,000アイテム以上!」

産直フェアスタッフ

- 新家 鶴雄
(部会長・別海ふるさと会)
- 足利 稔 (サロマ会)
- 田中 松美 (らうす会)
- 堀井 伸治 (森町ふる里の会)
- 三宅 雅久 (ふるさと斜里会)
- 佐藤 孝二 (美瑛会)
- 小林 敏邦 (夕張会)
- 太田 靖子 (福島会)

今年も高橋会長・産直部会長(新家副会長)・産直部会員を中心に4日間開催されました。連合会の役員・理事全員も4日間何かにつけ役回りがあり、お手伝いでした。